

## 目標値変更事業一覧

平成31年度に目標値を変更する事業は、予算を伴うため、変更予定の事業名等を記入する。  
目標値の記入は不要。

番号	細々目	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	指標式名	変更前目標値 (計画書への記載の値)	H31目標値	変更理由	設定根拠
26	健康診査事業(再掲)	成人歯科健診	健康づくり課	歯科医院での歯科健診、中央保健福祉センターでの歯科健診を実施。食の基礎となる歯や口腔の健康維持、機能維持を促進する。	毎日の食生活の充実、「食べる楽しみ」を確保する。	委託歯科健診、所内歯科健診及び離島での歯科健診の受診者数	設定なし	1,850人	「佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画」第4期以降の実施計画に統一したため。	「佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画」実施計画の事業目標値より設定。
27	特定健康診査事業費	【重点課題α】特定健康診査	医療保険課	国民健康保険加入者の40～74歳を対象に内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)に着目した特定健康診査を実施。また、健診後に管理栄養士による対象者の健康状態に応じたきめ細かな栄養指導などを実施。	生活習慣病予防のために、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)やその予備群を的確に抽出し、該当者を特定保健指導につなげる。	(指標式名変更なし) 受診率	設定なし	37.00%	医療機関に受診勧奨とあわせて未受診者の検査データを特定健診データとして活用する情報提供事業の協力を依頼し、集団健診では土・日曜日にがん検診との同時実施の回数を増やすなど、受診しやすい環境を整備したことで受診率は4年連続向上したものの、目標には届かなかった。目標に対する乖離があるため、平成30年度からの第3期計画から本市の過去の実績及びその伸びを考慮して目標値を設定し直し、最終年度の平成35年度に40%を目指す。	記載している事業項目は特定健康診査等実施計画に基づいたものであり、第2期はH25～29、第3期はH30～35までで区切られ、H29年度中に第2期の評価を行い、第3期を策定した。
28	特定保健指導事業費	【重点課題α】特定保健指導	医療保険課	国民健康保険加入者の40～74歳を対象に内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)に着目し、管理栄養士による対象者の健康状態に応じたきめ細かな栄養指導などを、特定保健指導として実施する。	特定健康診査により抽出した糖尿病などの生活習慣病予備群に対して適切な保健指導を行い、対象者が生活改善を行うことで将来的な発症の抑制を目指すもの	(指標式名変更なし) 特定保健指導実施率(%)	設定なし	60%以上	集団健診会場での指導予約取り、対象者が受けやすい環境を整えるための集団指導から個別指導への切り替え、家庭訪問を行っての指導、特定保健指導委託等、指導率を目標値へ近づけるため検診・改善を行い、指導率の上昇、達成へとつなげた。今後30年度以降は目標率60%以上を目指す。	記載している事業項目は特定健康診査等実施計画に基づいたものであり、第2期はH25～29、第3期はH30～35までで区切られ、H29年度中に第2期の評価を行い、第3期を策定した。
30	歯科保健推進事業(再掲)	歯の健康優良高齢者コンテスト	健康づくり課	80歳以上の高齢者で20本以上の歯を持ち、健康な口腔を有する者を表彰	楽しい食生活をおくるため、80歳以上になっても20本以上、自分の歯を保持する。	(指標式名変更なし) 参加者数	設定なし	H30年度迄で事業廃止	佐世保市歯・口腔の健康づくり推進計画の基本目標として掲げている「80歳で20本以上の自分の歯を有する者の割合の増加」の目標値も達成し、目的が果たされたとして事業終了とした為。	H30年度迄で事業廃止

目標値変更事業一覧

平成31年度に目標値を変更する事業は、予算を伴うため、変更予定の事業名等を記入する。  
目標値の記入は不要。

番号	細々目	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	指標式名	変更前目標値 (計画書への記載の値)	H31目標値	変更理由	設定根拠
32	育児等健康支援事業 (再掲)	【重点課題 ほ】 マタニ ティ学級	子ども保健課	妊産期、産褥期の栄養相談	健康の増進、生活の質の向上、 バランスのとれた食生活による 豊かな生活、家族で食卓を囲む 楽しい食事の実践につながる。	(変更前) 育児相談者 数・教室参加 者数  (変更後) マタニティ学級 受講率(産婦 人科実施分含 む)	1,300人	75%	市内産婦人科にて行っているマタニティ学級の充実により、妊婦が相談できる場所が増えている為。ただ、全産婦人科の栄養相談実施状況を把握し、30年度の実施状況を調査した上で、目標値を変更したい。	目標値を市で実施している教室に加え、市内産婦人科で実施している教室も含めた参加率にする。 目標値は、佐世保市男女共同参画計画と合わせる。
48	保育所給食施設指導	保育所給食施設指導	健康づくり課	特定給食施設などの設置者に対し、栄養管理のための指導、助言、支援	各施設での効果的な業務の実施と施設間の格差をなくす	(指標式名変更なし) 指導施設率	90%	50%	平成29年度の実績100%は、必要書類の提出を継続させることを目的とし、提出率を上げていた。未提出の施設には電話で提出を促し、提出率はほぼ100%となっている。今後は、提出書類からの栄養量の過不足に対する支援・助言について目標値を設定したい。	「食事提供に係る栄養管理の指導」 食品構成・提供している食品・栄養の評価を行い、児に合わせた栄養目標量の設定方法や食品構成ができてきているか。 年に2月分の実施状況を確認して基準に沿って行っているか確認している。 指導が少なくなっていくのが目標となる。 「指導状況」H28年度46.5% H29年度55.8% 年度によって指導状況に差があるのが現状。審査する人の能力によって指導件数が増減する可能性があるため、指導内容の標準化(基準を点数化するなど)を検討が必要。 平成33年度の目標値を現状から徐々に少なくすることを目標に、40%とする。平成31年度は50%にすることを目標とする。
53	食生活改善事業	食生活改善推進員研修会	健康づくり課	食生活改善推進員の研修	知識の習得・会員間の交流により、会員の資質向上と市民への対応力の向上を図る。	(変更前) 会員数  (変更後) 研修会参加会 員の延べ人数	300人	1,150人	事業内容は食生活改善推進員の研修であるため、研修会参加延べ人数の方が妥当と思われる。 1,150人 {母数(241人)×0.6(参加率)×8(テーマ)}	研修会参加会員の延べ人数 年間8のテーマで研修 参加率平均60%として計算 (年間50回:各地区公民館での研修を含む) 参加率は現状で算定しているため、平成33年度は参加率70%を目指す。
60	付加価値の高い一次産品育成対策事業	産地化・ブランド化、一億農産物振興事業の推進	農業畜産課	佐世保市産農産物(推進品目)の生産面積拡大	佐世保市産農産物の産地化を図る	(指標式名の変更なし) 佐世保市産農産物(推進品目)の生産面積	31ha		「一億農産物振興事業」について本年度見直しを行っているため。	事業項目等の変更 (変更内容(案)については事業見直し後に検討予定)